

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜小学校 国語＞

1三 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかをみる問題 [書くこと] ＜平均正答率 県 29.6%（全国比+0.8）＞

調査結果の分析

- 考えたことの理由を、調査結果以外の内容から取り上げている児童が全体の12.6%、報告書に書かれている内容ではなく、自分が考えたことを書いている児童が全体の21.9%であった。
- 調べて分かった事実と自分の考えを結び付け、自分の考えの理由を明確にすることに課題が見られる。



結果をもとに分かったことを書く

【授業改善のポイント】

○目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして書けるよう言語活動を充実させる

活動例・自分が設定した課題について調べ、目的や意図に応じて事実と感想、意見などを区別し、自分の考えが伝わるように報告書にまとめる。

○調べて分かったこととそこから考えたことを整理する場の充実を図る

活動例・「分かったこと（事実）」と「考えたこと（意見）」とを書き分けて表に整理する。（右の表参照）

- 「考えたこと」が、「分かったこと」のどの部分から導き出されたのかを聞き合ったり、線を引いたりして確かめる。

〔整理の状況〕	
分かったこと	考えたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>「公共電話が必要なら」と、主に携帯電話を使うことができないときに必要。</li> <li>「緊急のときに使う」ことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共電話は、私たちがいつ必要がなくなってしまうかわからない。</li> </ul>

3二 目的に応じて、質問を工夫することができるかをみる問題

[話すこと] [聞くこと] ＜平均正答率 県 66.6%（全国比-0.8）＞

調査結果の分析

- 話し手の状況を捉えることができていない質問を選んだ児童が、全体の23.6%であった。
- 話の展開を踏まえ、話し手の意図を考慮して質問を工夫することに課題が見られる。



相手の話を受けて質問を工夫する

【授業改善のポイント】

○目的を明確にし、情報を関係付けて話したり聞いたりできるよう言語活動を充実させる

活動例・聞く活動の前に自分の考えをもち、聞き出したいことを書き出し、話の展開に沿って目的に応じた質問をする。

- 自分のもっている情報と関連付け、分からないところを質問したり、相手の話につなげてさらに詳しく聞き出したりする。

○インタビューの仕方について振り返る場の充実を図る

活動例・社会科や総合的な学習の時間等でのインタビューの様子を記録し、その記録をもとに、質問の仕方について成果や課題を話し合う。